



相模原協同病院の中核病院移行について

〔事務局〕
神奈川県健康医療局保健医療部医療整備・人材課
令和7年2月3日

1 相模原協同病院の中核病院への区分移行について

- 令和4年度に、同病院から、周産期救急医療システムにおいて、**協力病院から中核病院へ区分移行したい旨の要望**があった。
- これを踏まえ、令和4年度に開催した周産期医療協議会では、**次の条件を付して、中核病院への移行を承認することとした。**

付帯条件

- (1) 産科及び麻酔科の人員体制の充実を図ること。
- (2) 基幹病院と十分に連携を図ること。
- (3) 救急患者受入れ状況について、認定後2年間、県に実績報告を行うこと。

- なお、同病院では、将来的に地域周産期母子医療センターになる意向もある。

【参考】神奈川県周産期救急医療実施要綱における中核病院の要件

【同要綱 第4条（病院種別）より】

中核病院

- 基幹病院からの要請に応じ、中等症以上の患者を中心に原則として**24時間体制**で受け入れる。
- **基幹病院で受け入れることができない重症患者**を体制の許す範囲で受け入れる。
- 基幹病院からの転院依頼に応じ、**基幹病院において受け入れられ急性期を過ぎた患者**を受け入れる。
- 自病院で受け入れた患者が急性期を過ぎた場合、患者の状況に応じて**協力病院等への転院を積極的に行い、基幹病院から新たな患者を受け入れられる体制を確保**する。

協力病院

- 基幹病院からの要請に応じ、比較的軽度な患者を受入れる。
- 基幹病院及び中核病院で受け入れた急性期を過ぎた患者を受入れる。

【参考】令和4年度第1回周産期医療協議会 主な意見

- 県央北相地区では、残念ながら、まだN I C Uが若干足りない。
- 産科の常勤医師が4 人と少なく、この4 人も全員がベテラン医師というわけではない。
- 実際に県央北相地区の母体搬送が発生した場合、夜間土日の受け入れが難しいケースが多い。
- **産科医4 人で、24 時間体制で周産期体制医療を維持するというのはなかなか難しい**と感じる。
- **麻酔科の常勤医が4 人しかいない**中、ホームページでの手術件数は年間3,000 件以上
➡ 過重労働
- 帝王切開の緊急時は30 分以内に到着する必要があるので、麻酔科は当直体制を引いていないと、事実上なかなか対応は難しい。働き方改革もある中で、麻酔科医を病院に縛りつけることにならないか。
- バックトランスファーの場所があるという意味では、相模原協同病院と北里との連携から地域周産期になる意味は非常に大きい。
- その病院だけの努力目標にせずに、実際に連携をしている基幹病院の確認等の条件付として整備しては。



基幹病院との連携等をした上で、2 年後に再評価することとなった。

【参考】同ブロック基幹病院意見（R 5 年度時点）

落合委員（産科）

- 産科の視点では、**中核病院移行は難しい**。
- 土日夜間で北里大学病院からの母体搬送依頼を受け入れた事例はほとんどない。
- まずは、相模原協同病院の執行部の考え方と、そこに勤務する産科医師、NICU医師の考え方（中核病院として申請を希望するかどうか）を統一する必要がある。

中西委員（新生児）

- **中核病院への移行**は、県央北相地域の周産期医療を維持するには**必要**
- 新生児側からの視点では、**要件を満たしている**。（中等症以上の患者の搬送を受け入れている。重症患者についても、呼吸管理を要する児を受け入れている。バックトランスファーを受け入れている。バックトランスファー受入れのため、自院ベッド数も確保している。）
- 相模原市緑区一体は、医療過疎地域であり、分娩施設は限られている。重症管理妊婦が発生した場合には、**相模原協同病院はこの地域の重要な医療拠点になる**。

【参考】分娩取扱医師偏在指標（R4年4.1時点）

医師偏在指数(R4.4.1)

全国	10.6
神奈川県	10.9
川崎	11.6
三浦半島	7.8
湘南	10.1
県央北相	10.0
西湘	11.0
横浜	11.4

ブロック名	市町村	ブロック名	市町村	ブロック名	市町村	ブロック名	市町村
横浜	横浜市	湘南	平塚市	西湘	小田原市	県央北相	相模原市
	鎌倉市		茅ヶ崎市		南足柄市		大和市
	藤沢市		秦野市		中井町		海老名市
川崎	川崎市		厚木市		大井町		座間市
三浦半島	横須賀市		伊勢原市		松田町		綾瀬市
	逗子市		大磯町		山北町		寒川町
	三浦市		二宮町		開成町		
	葉山町		愛川町		箱根町		
			清川村		真鶴町		
					湯河原町		

県央北相の分娩取扱医師偏在指数は全国10.6に対し、10.0と低い状況。

2 相模原協同病院の医師等の配置状況

令和4年9月時点と令和6年9月時点の比較				
産科	常勤	4	4	±0
	非常勤	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>△1</u>
新生児	常勤	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>△2</u>
	非常勤	<u>6</u>	<u>8</u>	<u>+2</u>
麻酔	常勤	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>+1</u>
	非常勤	16	16	±0
看護師	常勤	11	11	±0
	非常勤	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>+1</u>
助産師	常勤	1	1	±0

産科医師数はR5年度は3名だったが、**申請時点と同数の4名に回復**(非常勤は1名減)

		R 6 年 9 月 1 日 時点				
		総数			1 日あたりの 従事者数	備考
			常勤	非常勤		
医師（産科）		10	4	6	4 ※ 1	※ 1 帝王切開術が必要な 場合、概ね30分以内に手術 への対応が可能な医師数
日中		7	4	3	4 ※ 1	
夜間		10	4	6	1 ※ 1	
夜間オンコール		4	4	0	1 ※ 1	
医師（新生児）		14	6	8	5 ※ 2	※ 2 NICUまたはGCUの担 当医師
日中		6	5	1	4 ※ 2	
夜間		11	5	6	1 ※ 2	
小児科当直と兼務		11	5	6	1 ※ 2	
夜間オンコール		5	5	0	1 ※ 2	
麻酔科医		21	5	16	7 ※ 3	※ 3 帝王切開術が必要な 場合、概ね30分以内に手術 への対応が可能な医師数
日中		7	4	3	7 ※ 3	
夜間		0	0	0	0 ※ 3	
夜間オンコール		5	4	1	1 ※ 3	
看護師		13	11	2	4 ※ 4	※ 4 NICUまたはGCUの 担当看護師 (目安：NICU⇒3床に1人 GCU⇒6床に1人)
日勤		3	3	0	3 ※ 4	
準夜勤		2	2	0	2 ※ 4	
夜勤		2	2	0	2 ※ 4	
助産師		1	1	0	1 ※ 5	※ 5 NICUまたはGCUの担 当助産師数
日勤		1	1	0	1 ※ 5	
準夜勤		0	0	0	0 ※ 5	
夜勤		0	0	0	0 ※ 5	
臨床心理技術者		0	0	0	0 ※ 6	※ 6 NICUに配置している臨 床心理士等の臨床心理技術 者
日勤		0	0	0	0 ※ 6	
準夜勤		0	0	0	0 ※ 6	
夜勤		0	0	0	0 ※ 6	

【R 6 事務局評価（案）】⇒産科医師が常勤4名と、前回協議（R 5）時点（3名）から増加しているが、申請時点とは同数であり、体制として十分とはいえない。麻酔科医は、申請時点より増加しており評価できる。

【参考】他病院との比較（近隣ブロックの中核・協力病院）

NICU病床利用率
R5年度54.6%

	病院名	周産期 母子医 療C	受入可能（単胎）		受入可能（双胎）		受入実績※4						NICU	GCU
			週数	体重	週数	体重	母体※1	ELBW※2	VLBW※2	LBW※2	2500以上	新生児 総計		
中核病院	相模原協同病院	—	32	制限なし	32	制限なし	3	0	1	40	83	123	6	0
	相模野病院	地域	28	800	28	800	36	0	9	87	110	197	12	14
	茅ヶ崎市立病院	地域	28	制限なし	30	制限なし	46	1	9	55	80	135	3	16
	平塚市民病院	—	30	1,000	30	1,000	25	0	5	62	85	147	3	8
協力病院	大和市立病院	—	34	1,800	35	2,000	6	0	3	51	87	138	6	0
	厚木市立病院	—	34	1,700	34	1,700	18	0	0	44	55	99	0	6

※1 妊娠週数22週～分娩まで

※2 院内外のELBW（超低出生体重児→1000g未満）、VLBW（極低出生体重児→1500g未満）、LBW（低出生体重児2500g未満）

※3 受入可能週数及び体重は、令和6年4月1日時点。相模野病院、茅ヶ崎病院は令和5年8月時点（県独自調査「周産期救急医療情報システム調査」より）

※4 受入実績は、令和5年度実績。（県独自調査「周産期状況調査」より）

※5 NICU病床数及びGCU病床数は令和6年4月1日時点（県独自調査）

3 R 5.3～R 6.9（19か月）の産科受入実績詳細

○ 母体救急患者受入件数 13件

※ R 5.3～12は受入実施患者のみ記載

NO	依頼日 ex)2023/3/5	時間 ex)23:30	依頼元	主訴 ex)妊娠@週 切迫早産 妊娠@週 妊娠高血圧症候群	受入可否	←「否」の場合その理由	備考
1	2023/4/6	4:05	けい産婦人科	妊娠35週 2日 破水	可		
2	2023/4/20	11:20	にしさここどもレディースクリニック	妊娠34週0日 切迫早産	可		
3	2023/5/1	11:40	けい産婦人科	妊娠33週 4日 切迫早産	可		精神疾患合併
4	2023/5/6	10:54	海老名総合病院	妊娠34週0日 切迫早産 絨毛膜羊膜炎疑い	可		
5	2023/9/28	11:00	海老名総合病院	妊娠33週3日 切迫早産	可		
6	2023/10/26	13:35	けい産婦人科	妊娠35週4日 破水	可		
7	2023/11/6	4:40	綾瀬更生病院	妊娠35週 6日 破水	可		
8	2023/12/23			妊娠34週 切迫早産	否	その他（備考欄に詳細記入）	人員不足
9	2023/12/25			HDP増悪	否	病床満床	
10	2023/12/27			記録なし	否	その他（備考欄に詳細記入）	人員不足
11	2023/12/29			妊娠35週2日 帝王切開2回 破水	否	病床満床	
12	2024/1/11			妊娠33週 前期破水 骨盤位	否	その他（備考欄に詳細記入）	手術室対応不可
13	2024/1/12	21:45	北里大学病院	母体搬送	否	その他（備考欄に詳細記入）	緊急手術対応のため
14	2024/2/3	22:00	北里大学病院（綾瀬厚生病院）	妊娠34週5日 切迫早産	否	その他（備考欄に詳細記入）	オンコール不在のため当直対応困難
15	2024/4/1	4:00	北里大学病院	妊娠34週 前回帝王切開 破水	可		
16	2024/4/1	4:30	北里大学病院（慈生会病院）	妊娠34週3日 前期破水 前回帝王切開	可		入院
17	2024/4/3	21:00	北里大学病院	妊娠33週5日 骨盤位 破水	否	その他（備考欄に詳細記入）	人員不足

3 R5.3～R6.9（19か月）の産科受入実績詳細

NO	依頼日 ex)2023/3/5	時間 ex)23:30	依頼元	主訴 ex)妊娠@週 切迫早産 妊娠@週 妊娠高血圧症候群	受入可否	←「否」の場合その理由	備考
18	2024/4/19	9:40	北里大学病院（代田産婦人科）	妊娠32週6日 前期破水	可		入院
19	2024/5/30	10:30	慈誠会病院	妊娠33週3日 前期破水	可		入院
20	2024/6/2	16:30	北里大学病院	妊娠33週 低置胎盤 400g 出血	否	その他（備考欄に詳細記入）	人員不足
21	2024/6/16	14:00	北里大学病院	妊娠35週 骨盤位 前期破水 高位破水	否	病床満床	
22	2024/7/16	14:40	北里大学病院（大和市立病院）	妊娠33週4日 胎盤周囲血腫 早剥なし	否	その他（備考欄に詳細記入）	NICU対応不可
23	2024/7/18	16:50	北里大学病院	妊娠35週 DD 破水	否	その他（備考欄に詳細記入）	手術室対応不可
24	2024/7/23	9:57	北里大学病院	不明	否	病床満床	
25	2024/7/23	10:50	北里大学病院（海老名総合病院）	妊娠34週3日 HDP	可		入院
26	2024/7/25	13:00	北里大学病院	妊娠32週 胎児機能不全	否	その他（備考欄に詳細記入）	NICU対応不可
27	2024/7/31	4:00	北里大学病院	産後出血性ショック 裂傷	否	その他（備考欄に詳細記入）	手術室対応不可
28	2024/8/9	9:11	北里大学病院	不明	否	病床満床	
29	2024/8/14	18:00	北里大学病院	妊娠32週 DDツイン	否	その他（備考欄に詳細記入）	NICU対応不可
30	2024/8/30	11:18	北里大学病院	不明	否	その他（備考欄に詳細記入）	人員不足
31	2024/9/5	21:20	北里大学病院（美和レディースクリニック）	妊娠35週0日 破水	可		入院

受入れ不可事案18件の理由は病床満床(5)、人員不足(5)、手術対応(4)、NICU対応(3)、オンコール不在(1)であり、人員の不足が要因と思われるものが多い。

【R6事務局評価（案）】⇒受入実績について、令和4年度実績同様、令和5年度も他の近隣中核病院に比べて母体搬送受入件数が少なく、令和6年度も大きな改善は見られないことから、中核病院として十分な受入れ実績があるとは言い難い。

4 R 5.3～R 6.9（19か月）の新生児受入実績詳細

○ 院外からの搬送情報に対する新生児受入件数 53件

※ R 5.3～12は受入実施患者のみ記載

NO	情報收受日 ex) 2023/3/5	時間 ex) 23:30	依頼元	出生日	依頼時日齢	出生体重 (g)	在胎週数		主訴	受入可否	←「否」の場合その理由	備考
							週	日				
1	2023/03/01		代田		0	2954	37	4	T T N	可		
2	2023/03/03		けい		3	3366	39	2	発熱	可		
3	2023/03/06		愛育		3	3010	38	4	無呼吸	可		
4	2023/03/08		北里		11	1922	34	1	早産	可		
5	2023/03/08		北里		11	2160	34	1	早産	可		
6	2023/03/29		西迫		4	3775	38	1	新生児の哺乳不足	可		
7	2023/04/26		けい		2	2470	40	1	無呼吸	可		
8	2023/05/07		けい		0	3144	37	6	新生児一過性多呼吸	可		
9	2023/05/21		愛育		3	3120	38	5	新生児呼吸障害	可		
10	2023/05/26		けい		4	2395	41	4	新生児敗血症の疑い	可		
11	2023/06/02		相模原病院		13	2822	38	4	新生児呼吸障害	可		
12	2023/06/09		愛育		1	3020	37	2	新生児一過性多呼吸	可		
13	2023/06/13		会澤産婦人科		0	3344	38	5	副腎腫瘍	可		
14	2023/06/21		愛育		1	3222	39	3	新生児チアノーゼ発作	可		
15	2023/06/26		愛育		1	2614	38	4	新生児チアノーゼ発作	可		
16	2023/06/28		慈誠会		2	2614	39	6	新生児嘔吐	可		
17	2023/07/03		愛育		4	3056	38	5	新生児チアノーゼ発作	可		
18	2023/07/15		慈誠会		0	2910	40	0	新生児一過性多呼吸の疑い	可		
19	2023/07/20		てるて		4	3392	40	1	新生児一過性多呼吸	可		
20	2023/07/27		てるて		0	3038	39	6	新生児一過性多呼吸	可		
21	2023/08/03		慈誠会		2	2670	36	6	新生児無呼吸発作	可		
22	2023/08/14		北里		25	1660	37	1	低出生体重児	可		

4 R 5.3～R 6.9（19か月）の新生児受入実績詳細

NO	情報收受日 ex) 2023/3/5	時間 ex)23:30	依頼元	出生日	依頼時年齢	出生体重 (g)	在胎週数		主訴	受入可否	←「否」の場合その理由	備考
							週	日				
23	2023/08/16		北里		16	2064	33	1	低出生体重児	可		
24	2023/08/16		北里		16	1038	33	1	極低出生体重児	可		
25	2023/08/16		北里		16	1600	33	1	低出生体重児	可		
26	2023/08/17		てるて		1	3018	39	6	新生児呼吸障害	可		
27	2023/09/08		慈誠会		8	2106	38	5	新生児発熱	可		
28	2023/09/14		北里		20	2118	36	3	低出生体重児	可		
29	2023/09/21		代田		1	3412	39	0	ビエール・ロバン症候群の疑い	可		
30	2023/10/20		海老名		0	2636	37	6	軽度新生児仮死	可		
31	2023/10/21		慈誠会		1	2782	38	3	新生児一過性多呼吸	可		
32	2023/11/16		都立小児		37	1155	29	5	早産	可		
33	2023/11/17		大和市立		2	3600	37	5	副腎不全	可		
34	2023/12/1		ベルンの森		0	2552	38	3	染色体異常	可		
35	2024/1/4		愛育病院	2023/12/30	5	3108	38	6	無呼吸	可		
36	2024/1/13		シロタ産婦人科	2024/1/12	1	2686	40	2	新生児一過性多呼吸、敗血症疑い	可		
37	2024/1/18		シロタ産婦人科	2024/1/17	1	2528	36	4	新生児一過性多呼吸	可		
38	2024/2/22		相模原病院	2024/2/22	0	2530	36	4	新生児一過性多呼吸	可		
39	2024/2/29		愛育病院	2024/2/29	0	3374	38	5	新生児一過性多呼吸	可		
40	2024/3/4		愛育病院	2024/3/1	3	2804	39	3	血便	可		
41	2024/3/14		央優会レディースクリニック	2024/3/13	1	3226	38	4	帽状腱膜下血腫	可		
42	2024/3/26		美和レディースクリニック	2024/3/26	0	3355	39	3	新生児一過性多呼吸、敗血症疑い	可		
43	2024/04/22		北里	2024/4/2	20	1772	35	6	低出生体重児	可		
44	2024/04/25		てるて	2024/4/24	1	2414	40	4	新生児一過性多呼吸	可		
45	2024/5/4		不明	不明	不明	2764	40	0	呼吸障害	否	その他（備考欄に詳細記入）	他の入院処置
46	2024/05/16		けい産婦人科	2024/05/16	0	2990	41	4	新生児無呼吸発作	可		
47	2024/05/24		てるて	2024/5/22	2	3084	40	3	新生児一過性多呼吸	可		

次ページに続く

4 R5.3～R6.9（19か月）の新生児受入実績詳細

NO	情報收受日 ex) 2023/3/5	時間 ex) 23:30	依頼元	出生日	依頼時年齢	出生体重 (g)	在胎週数		主訴	受入可否	←「否」の場合その理由	備考
							週	日				
48	2024/06/03		けい産婦人科	2024/06/03	0	2878	40	6	新生児一過性多呼吸	可		
49	2024/06/13		愛育	2024/06/13	0	2942	39	1	新生児無呼吸発作	可		
50	2024/06/19		愛育	2024/06/19	0	1894	37	6	低出生体重児	可		
51	2024/06/29		美和	2024/06/29	0	2185	39	0	新生児低血糖	可		
52	2024/7/24		不明	不明	不明	不明	不明	不明	無呼吸	否	病床満床	
53	2024/7/24		不明	不明	不明	不明	不明	不明	呼吸障害	否	病床満床	
54	2024/07/30		てるて	2024/7/24	6	2160	39	4	新生児一過性多呼吸	可		
55	2024/08/15		央優会	2024/8/14	1	2686	36	6	新生児一過性多呼吸	可		
56	2024/8/19		けい産婦人科	2024/8/19	0	不明	不明	不明	呼吸障害	否	病床満床	
57	2024/08/28		聖マリ	2024/7/19	40	749	25	4	超低出生体重児	可		

【R6事務局評価（案）】⇒受入実績について、低出生体重児の受入数は少ないが、受入れ総数は他の近隣医療機関と同等程度であることから、新生児部門については、中核病院としての実績を有していると考えます。

5 相模原協同病院の意向等

◎ 令和7年度以降の中核病院継続意向 ➡ 有り

- 常勤の産科医師について、R7年度は具体的な増員見込みなし
- 非常勤の産科医師について、現在、当直時間帯をカバーするために非常勤医師を採用する等行っているため、常勤換算では0.7(R4年9月30日時点)から1.0に改善されている状況

6 相模原協同病院の中核病院承認可否について

事務局（案）

- 令和4年度申請時点の母体搬送受入実績及び産科の人員体制に係る懸念が、払しょくされておらず、中核病院の要件を満たしているとは言い難いことから、中核病院として承認することは困難。
- その一方で、県央北相地域において、相模原協同病院が中核病院として機能することに対する期待は高まっている状況。
- これらのことを鑑み、**相模原協同病院に以下の条件を付した上、引き続き中核病院として位置付ける**こととし、2年後を目安に再度、県周産期医療協議会にて評価する。

付帯条件（案）

- (1) 産科の人員体制の充実を図ること。
- (2) 基幹病院と十分に連携を図ること。
- (3) 救急患者受入れ状況について、毎年、県に実績報告を行う。